

平成 22 年 6 月 1 日現在

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2006～2009

課題番号：18320120

研究課題名（和文） 近世ヨーロッパにおける宗教・政治・商業空間の構造転換

研究課題名（英文） Changes in religious, political and commercial spheres in early modern Europe

研究代表者

西川 杉子 (NISHIKAWA, Sugiko)

東京大学・大学院総合文化研究科・准教授

研究者番号：80324888

研究成果の概要（和文）：

従来の研究では、ヨーロッパ「近世」の前半（1648年ウエストファリア講和条約頃まで）は宗教戦争の時代とみなされているのに対し、「近世」の後半は、いわゆる主権国家体制が前提とされ、各国ごとに世俗化した啓蒙主義の伝搬が説明されてきた。本研究は、近世後半に顕著になった変化として、(1) 政治社会における宗教の位置づけの変化、(2) 国家領域を超えた人や集団の結合が領域国家の政治的歴史展開のなかで果たした役割の変化、(3) 商業空間の急激な拡大とその質的变化という、三つの歴史的展開を重視し、これらの展開を一国史の枠組みに基づいた内的発展に限定してみるのではなく、国家領域にとらわれない宗教的・政治的・経済的ネットワークの観点から具体的に検討を試みた。また時代はナント王令廃止(1685)と名誉革命(1688-89)という二つのヨーロッパ規模での事件がおこった1680年代に焦点を絞ることにより、ヨーロッパ的連関と英蘭仏のみならずスペイン、ポーランドやスイスなどより多くの地域の比較をあきらかにしようとした。そして13名の研究分担者・研究協力者の協力を得て、2009年3月21日には、国際シンポジウム Rethinking the Glorious Revolution in a European Context（基調報告はバンゴール大学トニ・クレイドン教授およびレイデン大学ダヴィド・オネキンク専任講師）、2009年12月19日には、シンポジウム「1680年代から近世ヨーロッパを視る -政治・宗教・商業空間の転換とネットワーク-」（基調報告は本科研のメンバー）を開催した。また研究成果の一部として、科研参加者たちの論考を東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻紀要『Odysseus』第14号別冊1（2010年2月刊行）にまとめることができた。一国史をこえた近世ヨーロッパ像の構築はまだ大きな課題を残しているが、本研究はこれらの研究成果によって、ナショナルとトランスナショナルな側面をあわせもつ「近世」像を提示することができたのではないかと考える。

研究成果の概要（英文）：

The early modern period in Europe, i.e. from the Reformation in the sixteenth century to the time of the French Revolution in the late eighteenth century, has often been divided into two parts: before and after the Peace of Westphalia. The earlier half is described as the time of European-wide religious war, while the latter part is seen as the age of emerging nation states and of the enlightenment. As a corollary to this, historical phenomena in the latter period tend to be explained mainly according to their national context, and the influence of religion is downplayed.

This project aimed to encompass religious, political and commercial developments and experiences in the latter half of the early modern period. How did the role of religion change in a more ‘political’ Europe? What was the role of transnational networks and individuals’ allegiances in the emerging modern nation states? And how did expansion of the commercial sphere affect people’s experience?

In order to answer these questions, we analysed the roles of religious, political and commercial networks at the time of the Revocation of the Edict of Nantes in France (1685) and the Glorious Revolution in England (1688-89); these two events were deeply related and had Europe-wide impact. The project brought together a wide range of international research and expertise with the aim of exploring the European dimension and comparisons with other areas. With the help of ten historians, we organised an international symposium “Rethinking the Glorious Revolution in a European Context” on 21 March 2006 (key speakers were Professor Tony Claydon of the University of Bangor and Dr David Onnekink of the Universities of Leiden and Utrecht) and a symposium “Rethinking the early modern Europe in the 1680s: roles of political, religious and commercial networks and spheres of their influence” on 19 December 2009 (involving all members of the project). Furthermore we published some of our research results as *Odysseus, Journal of Area Studies, the University of Tokyo*, vol 14, special issue 1. We believe these works show the importance of transnational aspects in religious, political and commercial developments and experiences of the latter half of early modern period and represent a significant attempt to overcome the limits of historical understanding inherent in the framework of national history.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	3,500,000	1,050,000	4,550,000
2007年度	3,400,000	1,020,000	4,420,000
2008年度	4,900,000	1,470,000	6,370,000
2009年度	4,800,000	1,440,000	6,240,000
年度			
総計	16,600,000	4,980,000	21,580,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・西洋史

キーワード：西欧史

1. 研究開始当初の背景

本研究は、西洋近世における政治的歴史展開がもつばら一国史の枠組みに基づいて説明されてきたのに対して、国家領域にとられない宗教・政治・商業的ネットワークの観点から具体的に検討することが出発点であった。その際に、17世紀後半・18世紀における宗教の役割を再検討する重視した。

2. 研究の目的

近世ヨーロッパにおける宗教的・政治的・商業的ネットワークに着目することによってトランスナショナルな歴史展開を明らかにすること。

3. 研究の方法

イングランド史の西川、アイルランド史の勝田、フランス史の大峰、そして途中からオランダ史の杉浦が加わって、1680年代に焦点を絞りながら、国家領域にとられない宗教的・政治的・経済的ネットワークの具体的な検討に努めた。同時に、海外の研究者4名、国内の研究協力者6名の協力を得て、ヨーロッパの多地域からの視座を生かしながら、総合的なヨーロッパ像の把握に努めた。

4. 研究成果

①国際シンポジウム Rethinking the Glorious Revolution in a European Context (2009年3月21日、明治大学駿河台キャンパス)、②シンポジウム「1680年代から近世ヨーロッパを視る - 政治・宗教・商業空間の転換とネットワーク-」(2009年12月19日、東京大学駒場キャンパス)、③東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻紀要『Odysseus』第14号別冊1(2010年2月刊行)。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計5件)

①西川杉子「はしがき」'Introduction' 『ODYSSEUS 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻 紀要』14号、別冊1(2010)、1, 67~69頁。

②Shunsuke Katsuta, 'Glorious Revolution and Ireland', 『ODYSSEUS 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻 紀要』14号、別冊1(2010) 105~109頁。

③大峰真理「シンポジウム：ヨーロッパ近世における1680年代の再検討 - 名誉革命からの射程 - コメント(2) 商業ネットワークを中心に」、『ODYSSEUS 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻 紀要』14号、別冊1(2010)、110~114頁。

④Nishikawa, Sugiko, 'Protection des intérêts protestants: les activités de soutien des anglais en faveur des orangeois', *Mémoires de l'Académie de Vaucluse*. 9eme Série, 4. pp. 156-164. Académie de Vaucluse. 2008.

⑤西川杉子「森の彼方のコレギウム-近世プロテスタント・ネットワークをめぐって」『創文』490号、2006年、pp.14-18.

[学会発表] (計12件)

①Sugiko Nishikawa, 'Introduction', Rethinking the Glorious revolution in a European context, an international symposium, Meiji University, 21st March 2009.

② Shunsuke Katsuta, 'Glorious Revolution and Ireland', Rethinking the Glorious revolution in a European context, an international symposium, Meiji University, 21st March 2009

③ Mari Omine, 'Comment for "Reconsidering the 1680s : Glorious Revolution in a European Context an international symposium, Meiji University, 21st March 2009

④ Shunsuke Katsuta, 'Comments from the other side of the Irish Sea', 7th Anglo-Japanese Conference of Historians, University of Tokyo, 16 March 2009

⑤ Miki Sugiura, 'Wine consumers' and distributors' creativity in 17th and 18th century Dutch Republic', 平成 21 年 5 月 香港大学。

⑥ Miki Sugiura, 'Street Sellers and Street Markets of Early Modern Edo', 平成 21 年 8 月 World Economic History Conference。

⑦ 西川杉子「ウェストファリア体制におけるネットワークの重層化と宗教」近世ヨーロッパにおける宗教・政治・商業空間の構造転換シンポジウム<1680 年代から近世ヨーロッパを視る—政治・宗教・商業空間の転換とネットワーク>、平成 21 年度 12 月 19 日、東京大学駒場キャンパス・学術交流ホール。

⑧ 勝田俊輔「ウェストファリア、レイスウェイク、アーヘン」近世ヨーロッパにおける宗教・政治・商業空間の構造転換シンポジウム<1680 年代から近世ヨーロッパを視る—政治・宗教・商業空間の転換とネットワーク>、平成 21 年度 12 月 19 日、東京大学駒場キャンパス・学術交流ホール。

⑨ 大峰真理、「アイルランド商人の定着と北ヨーロッパ交易ネットワークの転換」、近世ヨーロッパにおける宗教・政治・商業空間の構造転換シンポジウム<1680 年代から

近世ヨーロッパを視る—政治・宗教・商業空間の転換とネットワーク>、平成 21 年度 12 月 19 日、東京大学駒場キャンパス・学術交流ホール。

⑩ 杉浦未樹「小売から見たヨーロッパ商業ネットワークの再編成—オランダにおける都市内店舗と行商ネットワークの再編成を中心に—」近世ヨーロッパにおける宗教・政治・商業空間の構造転換シンポジウム<1680 年代から近世ヨーロッパを視る—政治・宗教・商業空間の転換とネットワーク>、平成 21 年度 12 月 19 日、東京大学駒場キャンパス・学術交流ホール。

⑪ 西川杉子「長期の宗教改革運動 17・18 世紀の展開」シンポジウム「ジャン・カルヴァン生誕 500 年記念に向けて—ヨーロッパ宗教改革の連携と断絶」2008 年 11 月 29 日、日本女子大学新泉山館。

⑫ Shunsuke Katsuta, 'The militia interchange between Great Britain and Ireland', Fifth Anglo-Japanese Conference of Historians, 28 September 2006 (IHR, London)

〔図書〕(計 15 件)

① 西川杉子「長期の宗教改革運動—17・18 世紀の展開」(森田安一編『ヨーロッパ宗教改革の連携と断絶』教文館、2009 年) pp91-106.

② 西川杉子「継続する宗教改革運動」『プロテスタントのヨーロッパ』(高柳俊一、松本宣郎編『キリスト教の歴史 2』. 山川出版社、2009 年) pp25-48, 62-77.

③ 勝田俊輔「宗教と公共性—アイルランドにおける宗派間対話の事例から」(大野誠編『近代イギリスと公共圏』昭和堂 2009 年 6 月) pp. 219-239

④ 勝田俊輔『真夜中の立法者キャプテン・ロック—19 世紀アイルランド農村の反乱と支配』(山川出版社 2009 年 11 月) pp. 1-280

⑤ 大峰真理「18 世紀フランスの奴隷貿易」(川田順三編『新版世界各国史 10 アフリカ史』、山川出版社、2009 年) 391~419

頁。

⑥大峰真理「アフリカ大西洋沿岸地域における黒人取引(16世紀中頃)」「ギニア湾沿岸における黒人取引(17世紀後半)」「セネガルにおける黒人取引(18世紀前後)」(小谷汪之ほか編『世界史史料2 南アジア・イスラーム世界・アフリカ 18世紀まで』岩波書店、2009年) 328~330頁。

⑦ Sugiko Nishikawa, 'Die Fronten im Blick: Daniel Ernst Jablonski und die englische Unterstützung kontinentaler Protestanten', Bahlcke, J. and Korthaase W. (eds.). *Daniel Ernst Jablonski: Religion, Wissenschaft und Politik um 1700* (Wiesbaden: Harrassowitz Verlag, 2008), pp. 151-168.

⑧西川杉子「プロテスタント国際主義を生きたーJ.C.ヴェルンドリの遍歴 1656-1724」『歴史的ヨーロッパの政治社会』(山川出版社、2008年) pp. 229-266.

⑨勝田俊輔「『ボトル騒動』と総督——19世紀初めのダブリンの政治社会」(近藤和彦編『歴史的ヨーロッパの政治社会』、山川出版社 2008年5月) pp. 480-515

⑩大峰真理「奴隷貿易から見た大陸間関係ーフランスの場合を中心にー」(池谷和信ほか編『朝倉世界地理講座 アフリカ I』朝倉書店、2007年)、79~88頁。

⑪西川杉子「フロンティアのプロテスタントたち」(大津留厚編『中央ヨーロッパの可能性ー揺れ動くその歴史と社会』昭和堂、2006) 35~67頁

⑫西川杉子「イングランド国教会はカトリックであるー17・18世紀のプロテスタント・インタナショナルと寛容問題」(深沢克巳・高山博編『信仰と他者ー寛容と不寛容のヨーロッパ宗教社会史ー』東京大学出版会 2006年10月) pp. 145-181.

⑬勝田俊輔「アイルランドにおける宗派間の融和と対立——1820年代のダブリンの事例から」(深沢克巳・高山博編『信仰と他者ー寛容と不寛容のヨーロッパ宗教社会史ー』東京大学出版会 2006年10月) 183-222頁。

⑭ Shunsuke Katsuta, 'The militia interchange between Great Britain and Ireland', in David Bates and Kazuhiko Kondo eds., *Migration and identity in British history: proceedings of the fifth Anglo-Japanese conference of historians* (Tokyo: University of Tokyo Kyozei Shuppan, 2006), pp. 160-171

⑮大峰真理「ポンディシエリの貿易商人とその活動」(フィリップ・オドレール著/羽田正訳編『フランス東インド会社とポンディシエリ』、山川出版社、2006年)、60~83頁。

[産業財産権]
○ 出願状況 (計 0 件)

なし

○取得状況 (計0件)

なし

[その他]
ホームページ等

なし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

西川 杉子 (NISHIKAWA, Sugiko)

(近世イングランド史・総括)

東京大学・大学院総合文化研究科・准教授

研究者番号：80324888

(2) 研究分担者

勝田 俊輔 (Katsuta, Shunsuke)

(近代アイルランド史)

岐阜大学・教育学部・准教授

研究者番号：00313180

大峰 真理 (Omine, Mari)

(近世フランス史)

千葉大学・大学院人文社会科学研究所・准教授

研究者番号：70323384

杉浦 未樹 (Sugiura, Miki)

(近世オランダ史)

東京国際大学・経済学部・准教授

研究者番号:30438783

(3) 連携研究者

()

研究者番号：